

第8回 九州圏広域地方計画有識者会議(令和7年7月10日開催) 議事概要

■議事 (1)中間とりまとめ(案)について

○「アイランド九州」という言葉への思いについて確認したい。あえてこの言葉を使う意味を冒頭で説明が必要ではないか。将来像実現に向けた目標に、キーワードとして3つの目標を示しているが、九州圏の将来像では、「アイランド」については特に触れていない。そういう意味で若干弱い
が、「アイランド九州」をブレイクダウンすると、島であり、自己完結性があり、各県が密に連携し存在していて他の地域とは違う、ということか。

⇒「アイランド九州」について議論された当時を思い出すと、「シリコンアイランド」とか「カーアイランド」「フードアイランド」等、九州は様々なことを行っているということで、「×アイランド」としていた。それが形として残っており、例えば、アイランド九州の前に何かを付けて「成長エンジンアイランド九州」のように九州のまとまりの強さを表していた。

⇒例えば目標1「成長エンジンアイランド九州」のようなことか。目標1「成長エンジンアイランド九州」・目標2「自立型広域連携アイランド九州」・目標3「強く美しいアイランド」を読むと、アイランド九州の中身が見えてくるということか。

⇒そのとおりである。目標1・2・3の、掛け算の部分にあたる言葉が現在出てきているはずであるし、そこがうまく表現されれば、より良くなると思う。

⇒例えば、島なので「独立性」「中の一体性」「完結性」「外に開かれるが一体的に」等、将来像実現に向けた目標の説明文に補強されると、目標1・2・3がもっと言いやすくなり、それに合わせて本編にその要素を足した方が、分かりやすいのではないか。

⇒この計画書では使用されていないが、「クラスター」という単語がある。以前は「産業クラスター」とよく言われていた。「自動車アイランド」とは何かというと、「自動車産業のクラスター」であり、半導体も同じである。やはり「クラスター」がこのアイランド九州の中に存在するので、自己完結性は文中に入れても良いのではないか。その結果、「アイランド九州」のイメージが浮きあがってくると思われる。

⇒概要版について、将来像・目標にある「アジアの成長センター『アイランド九州』個性魅力を発揮しながらひとつにまとまり発展して、誇れる九州」について変更いただきたい。九州の「アイランド九州」は連携や自立性や自己完結的な所にポテンシャルがあるということが大事である。

⇒「アイランド九州」の背景を改めて、確認する。【事務局】

○ 有人国境離島地域の持続性向上に関して、「販売促進を通じた観光振興等に対して、支援を行う」とあるが、ここを支援することによって、居住できる場所として保証するというのが一番の目標だと思われる。目標を書くべきである。

⇒委員のご意見を踏まえ、修正する。【事務局】

○ 米国関税対策など、国際的な問題に経営者の対応がどのように変化するかという事も、計画の

で取り組んでいくことになると思う。中間取りまとめ(案)の目標 1 に「交流と変化を競争力へ」と副題がついているが、その変化が何を指しているかが読み取れない。読み進めると文脈上、「その変化」とは「環境の変化」を指し、その「環境の変化」を競争力につなげるという風に読める。この点が具体的に意図をよく読み取れなかったので、詳しく記述していただけないだろうか。

⇒わずか 2 行の文章のなかに「変化」という言葉が 3 つ入る。環境の変化、その「変化」は変化の中で脅威になることも機会として捉えていく事、と言いたいのではないか。「環境」はそのようにリフレーズし、もう少し分かりやすくするという事で良いのではないか。

⇒何の環境なのか、具体的にイメージできる記載について検討する。【事務局】

- 「国際的なニーズへの柔軟かつ機動的な対応」とあるが、国際的なニーズは変化すると思われる。それに対する柔軟かつ機動的な対応を求められている。それを踏まえると、その「国際的なニーズ」よりも「国際的なニーズへの変化に柔軟に対応」とした方が、動きがあって良いと考える。

⇒委員のご意見を踏まえ、修正する。【事務局】

- 離島の災害について、現状と課題では「大きなリスクを伴う」と、課題だけを書いていて、離島での災害時の対応について具体的な記載がない。「甚大な自然災害が発生した場合、リスクの低減が必要である」といったような、そのような取り組みが必要である、という表現にしていきたい。

⇒プロジェクトも同じように、住み続けることや復興のスピード感についても記載していきたい。

⇒委員のご意見を踏まえ、修正する。【事務局】

- 広域計画なので、県の計画等では書けない県境等に対する言及は非常に重要かと思われる。九州山地、高千穂や阿蘇などの県境の問題に対する連携や、県境地域の活力を高めていく振興や地域政策について、広域計画であれば言及する必要があるのではないかと。取り組みを行えるのは広域計画しかない。県境では山間部の高速道路の建設等を通じ、大きく変化するところであり、ミッシングリンクの解消となるのではないかと。

2 点目は高速道路について、本来整備されるべきところが出来ていない、とより強く言っていたきたい。九州横断自動車道延岡線や中九州横断道等、具体名を可能なら記載いただき、まさに九州全体でミッシングリンクの解消に向かっていき、それによって山間部、九州の中央部、大都市部が繋がりを、自治体の関係人口が出来ていくという話を入れていただきたい。プロジェクト 2 の 1 と等しく、九州山地など山間部、各県、大都市を繋ぐ高速道路の建設を推進していくなかでミッシングリンクを解消する、地域と大都市の関係性を持たせるストーリーとなるとありがたい。そのような戦略も可能であれば入れていただきたい。

3 点目は道の駅について、広域的視点を持った道の駅同士での連携についても話があっても良いのではないだろうか。まさに地方創生・防災の拠点でもあり、入れることで具体性も見え、九州全体の活性化に繋がるのではないかと。

⇒中間とりまとめ(案)は個別事業を除く部分になっている。計画原案の作成の際には、個別事業が入る。具体的な路線などは各部局が当てはめ、具体的に記述する。防災道の駅というキーワードは個別事業に出てくるので、今の時点では入っていない状況だが、追加指定もされており、能登半島地震を踏まえた半島地域の支援という点でも重要である。PR もして、承知していることでもある。【事務局】

⇒個別事業の名前を書くという趣旨でなく、九州全体のマネジメントの為に欠けているものがあるという意味であり、現状と課題に一言書いていただけたら意気込みが伝わる。

⇒県境の話については、「重層的な生活・経済圏の形成」の箇所「県境にこだわらない連携」というワードを少し入れることは可能ではないか。今後の地域生活圏も県境にこだわらないということで、打ち出せる可能性がある。

⇒委員のご意見を踏まえ、修正する。【事務局】

- 社会資本のエネルギーインフラに関する文章について。安定供給の視点で、安定的で安価と書いている。発電についても書かれているが、送配電網の強化も非常に大事で取り組みもなされているかと思うので、用語か視点等を入れると良いと思う。また、地熱・太陽光とあるが、蓄電池についても重要な要素なので入れていただいた方が良い。また、化石燃料による火力とあるが、最後にクリーンエネルギーで締めているのに、わざわざ化石燃料という言葉を入れる必要があるのか。火力、原子力は安定供給、またエネルギー需要の拡大に資する取り組みで、地熱・太陽光・原子力は、クリーンなエネルギー供給の取り組みということで整理・まとめるのなら、記載は必要ないのではと感じた。

⇒委員のご意見を踏まえ、修正する。【事務局】

- 全体として英語が多い印象を受けた。固有名詞は仕方ないが、リングネットワーク・ダブルネットワーク・リダンダンシーと、1行で3つもカナカナが出てきている箇所がある。ネイチャーポジティブやウォークアブル、ネイバーフッド等、日本語で十分ではないと思われる単語が多い。様々な人が見ることを踏まえ工夫してほしい。また、「リダンダンシー」と同義の「冗長性」も使われていたり、「ダブルネットワーク」と「多重性」が使われていたりするので、丁寧なチェックをお願いしたい。

自立型広域連携「アイランド九州」の説明文のなかで、「住んでよし」「働いてよし」「育ててよし」とあるが出典は何なのか。あまり語呂が良くないと感じた。

九州のインバウンド客が増えている要因に、クルーズセンターの整備によるものもあると思う。博多港が昨年、数年ぶりにクルーズ船寄港回数ナンバーワンに返り咲いた。佐世保や八代等もクルーズセンターが整備されているからこそ、インバウンド客も増えているので、やはり広域地方計画の中にクルーズセンターの存在を入れた方が良いのではないかな。

現在、高速船による韓国と国際交流は無くなっている。フェリーはあるが、高速船はない。「航空機に加えて高速船」というところは、削除すべきではないか。航空機については LCC の増加等を入れても良いと思う。

「多様な人々の活躍の実現」について、多様な人材とは若者・女性・障がい者・専門人材・外国人等となっていて、次ページで女性の活躍に焦点を当てているが、それ以上に外国人について考えなくてはいけないのではないか。今九州に来ているベトナム人は4万人で第1位である。これから増えることが予想され、九州の人と摩擦が生じ、日本に定着する事が難しくなるという問題が出てくるのではと考えている。私は内なる国際化という言葉使うが、我々日本人もその考え方をもち、外国の方々も定着の努力をするという、作りこみをしておかねばと考えている。増加する外国人に対する対応についても、盛り込んだ方が良いのではと思う。

自然災害に対する対応について、何より大事なものは、災害に備える事前準備である。現在は多くの人が備えているが、都市連携によるサポートや物流企業との連携も含め、災害に対する備えの部分を十分に記載する必要があると感じている。

⇒「多様な人々の活躍の実現」について、確かに女性だけ個別に記載している。外国人は、今後増えることが予想されるので、特出しにして現状と課題のようにしっかりと書くべき時代になっている。あとは施策等の問題になるが、検討をお願いしたい。

⇒「(3) 女性活躍の推進」の後に「(4) 外国人の定着・対応」として記載して良いのではないか。

⇒委員のご意見を踏まえ、修正する。【事務局】

- 「災害に対する事前準備の促進」について、異なる2つのことを1つの項目に書いている。前半は脆弱性を提言し、危険な所からの移転の誘導、後半は被災した場合のより効率的な復興という内容である。全く別のことを書いているので、ここは少しボリュームを増やして分けた方が良いと思う。通常、災害対策では、この2つは分けて扱う。

⇒委員のご意見を踏まえ、修正する。【事務局】

- 概要版について、裏面プロジェクト4の中核中枢都市で、天神ビックバンが出ている。説明で事務局の思いを表現したと言われたが、福岡の華やかな事例を書くだけではなく、宮崎や大分等の、地域コミュニティを活性化して頑張っているような事例を発掘して示すのが、事務局の思いであるべきだと思う。九州の中核中枢都市の皆さんが元気の出る方向性のプロジェクトを是非例示していただければと思っている。

⇒委員のご意見を踏まえ、修正する。【事務局】

■議事 (2) 今後のスケジュールについて

- 特に意見無し

■議事 (3) その他

- 特に意見無し